

令和7年度 学校評価(学校関係者評価)

具体的目標および評価の観点		評価と課題
今年度の重点目標	① 生徒を真ん中に置いた少人数、個別指導に努め、生徒の自立と社会性の伸長を図る。	おおむね達成できた。進学指導をもう少し強調してほしい。
	② 体験的・探求的学習の充実を図り、授業改善による学力の向上、定着を目指す。	少ない職員で生徒に寄り添った授業ができています。
	③ 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりに努める。	全職員で生徒の不安や苦しみを共有できているといえる。
	④ 校外資源を積極的に活用し、保護者地域から信頼される学校づくりを推進する。	保護者が学校行事に積極的に関わる方が増えて良かった。体験を通して自分の良さに気づき進路実現出来た生徒が多い。

領域	対象	重点目標	評価項目	具体的目標および評価の観点	評価	成果と今後の課題		
教育活動	学習指導	① 基本的学習習慣の確立	①	1 生徒に学習意欲を喚起することができたか。	A (B) C D	・個別指導を充実させ、学習意欲の喚起に努めた。 ・学習意欲の喚起や成績上位者への指導等については、本校とのオンライン授業や、ICT機器を活用した個別学習の機会が出来るが良い。		
			②	2 生徒の状況に応じて個別指導や学習支援ができたか。	A (B) C D			
		② わかる授業の実践	①	1 少人数を生かした授業を展開できているか。	A B C D			
			②	2 進路ガイダンスを効果的に設定できたか。	A B C D			
	進路指導	① 進路意識の形成	①	1 進路ガイダンスを効果的に設定できたか。	A B C D	・各学年とも適正に進路ガイダンスを実施することができた。 ・各学年毎に丁寧な進路支援を実施している。		
			②	2 就業体験を通して将来の進路意識を高めることができたか。	A B C D			
		① 希望進路の実現	①	1 コース制を生かした進路実現が図られたか。	A (B) C D			
			②	2 生徒の目的意識を明確にし、納得のゆく進路選択が図られるよう進路相談を行うことができたか。	A B C D			
	生徒指導	① ③ 基本的生活習慣の確立	①	1 日常的な啓発活動ができたか。	A (B) C D	・特に大きな問題行動は見られなかったが、友人に対するからかい等がないように支援をして欲しい。 ・生徒個々の対応は非常に難しいと思うが、それで助かる生徒が多くいるので今後ともお願いします。 ・支援が必要な生徒の洗い出し、支援会議、全職員への周知が適時適切に行われたと考える。		
			②	2 家庭と連携して指導できたか。	A (B) C D			
① ③ 問題行動への対応		①	1 問題行動に適切に対処し、校則を守る意識の向上が図れたか。	A (B) C D				
		②	2 人権に配慮し、生徒にとって居心地のよい雰囲気を作れたか。	A (B) C D				
特別活動	① ③ 生徒の自主活動の促進	①	1 スクールカウンセラーを有効に活用し、社会的自立を目指した生徒への支援を行うことができたか。	A B C D	・スクールカウンセラー、SSW、養護学校の巡回指導員の先生等専門家を招いての支援会議が出来ていて一定の成果があったといえる。			
		②	1 生徒会活動を通じ、生徒の自主性を育むことができたか。	A B C D	・生徒主体の活動が全体的に充実して行うことが出来てきている。引き続き活動の企画・実施を支援していただきたい。 ・文化祭では、生徒の自主性を尊重しながら活動を行うことができ、発表が充実していた。 ・クラブ活動は一部の生徒の参加のようだが、バスの問題が解消される来年度は期待したい。			
学校運営	教育課程	① ④ 将来に向けての教育課程の検討	①	1 本校の現状に即して、選択科目の見直しを含めた教育課程を検討することができたか。	A (B) C D	・例年通りの選択科目を開講できた。多様な進路希望には個別対応をしっかりと行い進路実現に繋げることが出来たといえる。 ・学校での職員研修や個々の先生方の工夫により、ICTを活用したり独自教材を作成するなどして、講座制やコース制の授業により、幅広く学習を進めることができています。		
			① ④ 個に応じた選択科目の設定	①	1 個々の生徒の進路希望に応じた選択科目を設定できたか。		A (B) C D	
				②	2 生徒の希望する進路に応じた指導はできたか。		A B C D	
	地域との連携	① ④ コース制授業の充実	①	1 これまでの授業内容を一層充実させ、生徒が満足できるように指導できたか。	A (B) C D			
				① ④ 開かれた学校づくり	①		1 授業公開を行い、多くの方に参加していただくことができたか。	A (B) C D
					②		2 地域と共同しながら行事等を行うことができたか。	A B C D
① ④ 将来に向けての本校のあり方について	③	3 地域への広報活動は十分であったか。	A (B) C D					
	①	1 地域の要望を聞きながら、よりよい学校づくりをすすめることができたか。	A (B) C D					
②	2 地元中学校からの進学者の増加を目指し、本校についての理解を深めてもらえるよう、積極的に働きかけることができたか。	A (B) C D						

\*自己評価: A 十分 B おおむね十分 C やや不十分 D 不十分

(各具体的目標および評価の観点について上記A~Dのいずれか評価する)

※ 評価の方法および公表

- 学校自己評価 1月中に全職員、2月中に生徒・保護者が4段階評価で行う。
- 学校関係者評価 第3回学校評議員会(2月)で行う。
- 学校評価(総括) 学校自己評価と学校関係者評価を総括し、改善点を明らかにする。
- 結果の公表 HPIに掲載する。